

講義名	政治学	授業形態				
担当教員	村上 友章	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3 時限			
		単位数	2	履修開始年次	1 年生	ナンバリング・コード

### 主題と概要

【目的】  
この授業は政治学に関する基本的な知識・理論を習得し、それらを用いて現代政治の諸問題を考察する能力を養うことを目的とする。

【内容】  
政治学に関する基本的な知識を学習してもらう。講義は「政治と経済」、「政治と社会」、「政治のしくみ」、「政治と世界」の4部構成からなり、身近な経済や社会における政治の役割を学んだのち、具体的な政治制度を理解し、さらにはグローバル化の世界における外交の動きを知る。全般を通じて現在の政治が直面しているさまざまな問題をトピックごとに取り上げ考察していく。そのなかで、従来の政治の仕組みや制度を支えてきた理念や考え方が、今日どのような意味で問い直しを迫られているかを考えてみたい。

【意義】  
私たちの暮らしと密接な関係にある政治を理解し、それについて深い洞察を示すことを目指す。こうした本授業の目的・内容は、まさに「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソンを育成する」という本学ディプロマポリシーに合致するものである。

### 到達目標

- 政治学の基本的な概念やキーワードについての正確な知識を習得できるようになる。
- 選挙制度や政党、地方自治など現代の政治を支える制度的な仕組みについて正確に理解できるようになる。
- 今日私たちが直面している政治的な諸問題が、どのような歴史的背景から生じているのかを理解できるようになる。
- 政治学の基本概念を用いて、現在の政治的諸問題について考察し、自分なりの立場や見解を説明できるようになる。
- 以上の諸点を通じて、受講生は、本学のディプロマポリシーが掲げる資質・能力（「論理的思考力」「課題発見力」「構想力」「ビジネスパーソンとしての基礎能力」等）を習得できるようになる。

### 提出課題

【毎回の予習・復習レポート】  
基本的に毎回、予習として教科書の該当箇所を読み、あらかじめ指示された演習問題を解き、それらをクリッカーを通じて提出する。また授業後には復習問題にも取り組み、クリッカーを通じて提出する。

【レポートや小テスト等】に対するフィードバックの方法  
・毎回の予習・復習課題については、授業中に解説を行う。

### 評価の基準

評価は、予習・復習レポート（50%）と学期末定期試験（50%）を合算して行なう。  
教科書および講義で説明された内容が正確に理解できているかどうか、そのうえで自分なりの立場や見解が論理的に説明できているかどうか、が評価の基準となる。

履修にあたっての注意・助言他  
・本授業は教科書を用いた予習・復習を毎回、課す。そのため教科書は必ず手元になければならない。  
・教科書の内容は授業中に解説するので、本を読むのが苦手な学生も、予習・復習を粘り強く続ければ読解力は身に付くだろう。他方、教科書で予習・復習をする覚悟の無い学生には、この授業は意味がない。

### 教科書

.はじめて出会う 政治学.	北山俊哉ほか	有斐閣	1980	9784641123687
---------------	--------	-----	------	---------------

### 参考図書

.なし.				
------	--	--	--	--

### その他

・授業ごとに必要に応じてキャンパスクロス等を通じて資料を配布する。

### 授業計画

- はじめに  
予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たとうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）  
復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めてクリッカーで回答すること（120分）
- 【パート1 政治と経済】  
2.組織された集団  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
3.官と民の関係  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
4.大企業と政治  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）
- 【パート2 政治と社会】  
5.選挙と政治  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
6.地方分権  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
7.マスメディアと政治  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）
- 【パート3 政治のしくみ】  
8.国会  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
9.内閣と総務省  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
10.官 僚  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）
- 【パート4 政治と世界】  
11.冷戦の終わりとから子ロとの戦いへ  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
12.経済交渉  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
13.国境を超える政治  
予習内容：次回に学ぶ教科書の該当章を読み、その演習問題を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：予習や授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）
- 【まとめ】  
14.日本政治の未来（1）  
予習内容：キャンパスクロスに事前に提示した講義資料を読み、設問を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）  
15.日本政治の未来（2）  
予習内容：キャンパスクロスに事前に提示した講義資料を読み、設問を解きクリッカーで回答すること（120分）  
復習内容：授業で学んだことを振り返り、クリッカーで回答すること（120分）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- （1）本授業の目的・内容は、以下の本学のディプロマポリシーに大きく貢献できる。  
【法政科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力】  
「学びのびのびへこたれず」の精神をもった人材  
知識を忠実に転換することができる。論理的思考力を持った人材  
創造力 新しい視点と豊かな発想 を持った人材  
自主・自らの精神を持った人材  
仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
- （2）本授業の目的・内容は、以下の経済学部経済学科のディプロマポリシーに大きく貢献できる。  
【共通】人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎を身に付け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができる。  
【現代経済コース】世の中の動きを理解して、経済問題を中心に現代社会の諸問題に解決策を提案することができる。  
【地域まちづくりコース】経済学を基礎にして、複雑化する地域社会で生起する問題を読み解き、解決策を提案することができる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ・クリッカーを用いて、予習・復習レポートを課す。
- ・授業中に、クリッカーを用いて、質疑応答やアンケートを行う。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考

・履修生のリクエスト等に応じて、授業計画は柔軟に変更することもありうる。